



おゝたきね

最終号

令和3年3月

発行所 大滝根山友の会
印刷所 土棚印刷

大滝根山分屯基地ホームページアドレス

<https://www.mod.go.jp/asdf/ohtakine/>

東京オリンピック 聖火リレースタート

令和三年三月二十五日
(木)基地所在地である福島県双葉郡川内村で東京オリンピック聖火リレーが行われました。福島県Jヴィレッジをスタートした聖火リレーは、県内四番目の聖火リレー場所である川内村に到着し、六名のランナーにより一七名を聖火の灯で繋ぎました。浴道では新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、拍手などでランナーを応援していました。この灯が全国を巡り、東京・国立競技場の聖火台に灯ることを楽しみにしたいと思います。
大滝根山新聞編集室



補助衛生要員養成訓練

第二十七警戒群は、令和三年二月十五日(月)〜同年二月十九日(金)の間、補助衛生要員十名の養成訓練を行いました。衛生員の指導の下、関係法規、応急処置、心肺蘇生法、疾病者輸送等に関する座学を実施し、人工呼吸練習模型、止血帯、担架等を使い実技を行いました。特に担架を使った疾病者輸送では、お互いに声を掛け合い四人のチームワークが一つになりました。安心、安全、安楽に疾病者を輸送することができていました。
今後は、部隊における補助衛生要員として活躍することを期待したいと思っております。

大滝根山新聞編集室

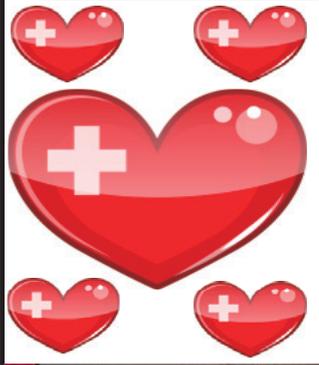


自衛隊紹介動画撮影協力

群本部 堀一曹
令和三年二月二十四日(水)自衛隊福島地方協力本部の依頼により、福島県相双地区の高等学校一、二年生に対し自衛隊を紹介する動画撮影に協力しました。
当群からは航空自衛隊の代表として、群本部衛生班の生田目(なまめ)士長を抜擢しました。インタビュー形式で行われた内容は、「現在の仕事内容は」、「社会人になって楽しむこと、苦労していること」、「学生時代

に経験しておけばよかったこと」、「なりたてのメッセージ」と内容は盛りだくさんでした。インタビュー本番は、多少緊張気味であった生田目士長でしたが、見てくれている高校生に話しかけるように、心を込めてインタビューに答えていました。この動画を見て自衛隊に興味を持ち、一人でも多くの高校生が自衛隊を職業の選択肢の一つとして希望してもらえればと思います。

【多少緊張気味の生田目士長】



今昔物語

基業隊 村上士長

皆様お疲れ様です。平成三十年に航空自衛隊に入隊し、第三術科学校で勉学に励み大滝根山分屯基地に配属されました。この短い自衛隊生活の中で一番印象に残った出来事は、業務支援で約一ヶ月間沖縄県の与那国島駐屯地で勤務したこと。現在取り組んでいる業務内容とは全く異なっており、国境を近隣に感

じる業務だったので緊張感があり、とても良い経験になりました。休日は同じクルー員の人たちと船に乗って島を一周し、観光地を回ることもでき、充実した一ヶ月間を過ごすことができました。皆様がこれを読んでいらっしゃる頃には、他の分屯基地での新しい生活をスタートさせていると思います。皆様、大変お世話になりました。またどこかで会えることを楽しみにしております。

おらが内務班

通電隊 金子士長

【辻三曹】
天使のような優しさで、ゲームが大好きな内務班長。内務班ではもちろん、外出する時もゲーム機を持っていくほどのゲーム好きで、最近デュアルデイスプレイになった事をニコニコ顔で報告してくれました。
【吉本土長】
常にクールで落ち着きがあり、一体力測定という少し変わった趣味を持つ。ダンディでとてもいい声をしており、大塚明夫の声と間違えた人もいますか？

デイスプレイの大きさは班内で一番。
【佐々木士長】
「常に笑顔」をモットーにしている、ポケもツッコミもこなすオールラウンダー。新生活に向けて準備をしているが、家電の値段の高さにも早くも心を弱らせている。
【金子士長】
マイペースで内務班では暇があればいつも寝ているがその正体は決闘者(デュエリスト)、アニメ好きでもある。最近見たアニメは「ローゼンメイデン」。

【塩田一士】
入校中の期待の新人。少し内気だが背が高く、バドミントンではこの基地で三本の指に入るほどの強者。



うん | まい | 処

監管隊 齋藤士長

皆さんこんにちは。後のおおたきね新聞というところで、自信ありの「うんまい処」を紹介したいと思います。私が紹介するうんまい処は、郡山市の新興町にある「丸新」という創業百年の日本料理店です。
【美味は笑顔を生む】
をコンセプトに旬の味覚を愉しむことができます。メニューは魚介中心なので、私は写真の海鮮丼を頼みました。お新香、茶碗蒸し、みそ汁が付いて千二百八十円です。

旬の魚(マグロ、サワラなど)がたくさん入っており、好みでわさびと醤油を付け、食べ応え抜群でした。最後は、茶碗蒸しをべろりと身体に染みわたります。くつろぎの間を演出する丸新さんの和の空間に落ち着きました。全国各地から届く新鮮な食材をお楽しみ頂くことができるので、お越しの際は、是非ご賞味ください。



コーヒータイム

通電隊 宇佐見士長

航空自衛隊入隊前、普通自動二輪免許取得からわずか三年間で終わってしまったバイクの思い出を語らせていただきます。当時、二十五歳の私は突然思い立ったようにバイクの教習所に通い、見事合格!(ちなみに卒業には二回落ちています。)路上という野に放たれた私はバイクを乗り回しました。ヤマハのバイクが好きで「ジール」(X-T250X)と三年間で三台も乗り継ぎ、バイクを操る爽快感に感動する日々でした。どう言っても、観光やキャンプに「バイク」を付け足して、ツリーングにすること

で、楽しさが何十倍にも膨れ上がりました。通勤路やコンビニまでの「いつもの道」がバイクに乗るだけで違った道のようなワクワク感がありました。シートの高さや重量、何より自分の腕への自信のなさから大型二輪の取得は半ば諦めておりましたが、そうこうしている内に航空自衛隊入隊を機にバイクを手放し、結婚したことでさらにバイクが遠い存在になりました。今思い返せば三年間も私のような「センス0(ゼロ)」が何事もなく乗れていたことは幸いではあります。毎年、春になると、またバイクに乗りたいたいなぁ。とあの頃に思いを馳せております。



「Oh~! 愛しのジール! さようなら~!」



【これは美味しそう! 是非食べてみたいですね!】

MYファミリー

皆様、お疲れ様です。今回「MYファミリー」を担当させて頂き、ます**基地業務隊施設小隊の山本士長**です。

施設小隊は、土木建築班や電気班、設備機械班と給気(ボイラー)班そして消防班の五つの職場があります。他の小隊と比べて多くの職種で構成され、自衛官に加えて、防衛技官がいるのも特徴の一つです。

それでは施設小隊を紹介させて頂きます。土木建築班は、基地内の道路補修等の作業、冬期間は主に基地内の除雪を行っています。電気班は、気象状況の悪化に伴う電源切替及び器材の整備等を行っています。設備班は、各器材に送る空調機の点検整備及び給排水の

維持管理を行っています。給気班は、発生させた蒸気を各職場に送り勤務環境の維持に務めています。また、各器材の点検も行っています。消防班は、消防設備点検や基地内及び基地外で火災が発生した際の対処をするなど専門知識が必要な仕事です。

施設小隊の先輩方は、人柄が良く優秀で話しやすい人が多いです。職場内環境は、群の中でも一番と言っていると思います。皆さん、お時間がある時は、是非遊びに来て下さい。山本士長が温かい珈琲をお出しします(笑)。

まだまだお伝えしたい事が多いですがこの辺で失礼したいと思います。



私の趣味は

基業隊 塚田士長

僕の趣味は、絵を描くこと。もともとそんなに絵が好きじゃなくても得意なわけでもありません。中学生のときも美術の成績は2か3だったし、楽しもうと思いませんでした。でも口下手な分、何かを表現したいという気持ちがあり、窮屈さを感じていました。思いつきで絵を描いたのが始まりでした。絵は、自分のイメージをよりわかりやすく表現できるように思います。音楽よりも簡潔に。写



【ペンのタッチが最高にいいですね!】

真よりも個人的に。色の濃淡とか細かいことはわかりませんが、表現の工夫は素晴らしいです。描いてみると、結構な時間を忘れて描いてしまいます。僕は絵を描くのが好きで、たまには自分でも描いてみたいと思います。素敵な絵を描くのが好きです。素敵な絵を描くのが好きです。素敵な絵を描くのが好きです。

郷土紹介

皆さんこんにちは、監視管制隊の高橋士長です。今回は郷土紹介という事で、私の生まれ育った静岡県静岡市を紹介させて頂きます。

静岡市は静岡県の県庁所在地であり、富士山、日本アルプスをはじめとする山々と広大な駿河湾に囲まれた穏やかで住みやすい都市です。静岡市は日本アルプスに囲まれているため、寒気が山々を越えることができずに一年中温暖な気候が続きます。雪が降ることがありません(私も自身も静岡市を離れるときまで雪を見たことがありませんでした)。静岡市で有名なものは富士山とお茶です。静岡市は富士山の近くに

位置しており毎日大迫力の富士山を見る事ができます。冬になると富士山の上に傘を被ったように見える「傘雲」が絶景です。続いて紹介するのはお茶です。静岡県は全一のお茶の生産量を誇ります。静岡市の至る所にお茶畑が広がっています。小学校の水道からお茶が出てくる場所もあるほどです。

他にも、日本酒(磯自慢)やうなぎパイなどのおいしいものと、久能山東照宮や駿府城などの観光名所もあり伝えないと静岡市の魅力がたっくんあります。皆さんも静岡市に観光に来た際には是非立ち寄ってみて下さい。

【駿府城】



【傘雲の富士山】



班長の独り言

おたきね新聞を愛読の皆様、初めまして監視管制隊の河内三曹です。現在は第一小隊第四勤務班を勤めさせて頂いております。こちらに転動してきてあつという間に一年の月日が経ちました。前任地の三沢以上の豪雪を経験し、個性豊かな班員達に囲まれ、毎日がつも充実しています。今回は、一年の勤務を通じて私が感じた大滝根山の魅力について述べさせて頂きます。

まずは、なんと二mからの眺望は一年を通じて絶景です。五月になるとつじが見頃を迎え、夏は新緑が生い茂り、秋は紅葉、冬は樹氷の間近に肌で感じる事が出来来ます。

また、部隊の雰囲気は、仕事に任地でも、前においても、おいらと同じ仲間内までか交流があり、ここ大滝根山には、顔見知りとなり、部隊間の交流が盛んに行われていく。この機会に、大滝根山の良さをたくさん見つけたい。後輩の勤務の際に、良かった日々を思い出させてあげたい。冬は、心が温かくなる。冬は、心が温かくなる。冬は、心が温かくなる。



【これから見頃を迎える山つつじ】



今号を持ちまして

おゝたきね新聞は最終号となります。

長年、おゝたきね新聞を

ご愛読頂きまして

ありがとうございます。

おゝたきね新聞委員会